

## ※決定モデルとその応用※

• 第3回

日時: 9月20日 出席者: 13名

場所:大阪大学基礎工学部数理教室

講師:(1)阪井節子(甲子園大学経営情報学部)

「Prisoner's Dilemma 型ゲームについて」
(2)栗栖忠 (大阪大学基礎工学部)

[Stochastic Scheduling について]

• 第 4 回

日時:10月25日(土) 出席者:22名

場所:大阪大学工業会館

講師:玉置光司(愛知大学経済学部)

テーマ: 「Best Choice Problem とその周辺」パソコンやワープロ等,新機種が激しく出現する時代にあって,これらを購入する最適タイミングの問題と結びつけて、Best Choice Problem を論じられた.

講師:寺岡義伸(姫路工業大学)

テーマ:「不確実な停止時刻をもつタイミングのゲームについて」いわゆるタイミングゲームの歴史的展開と 最近の話題について論じられた。

## ●最適化とその応用●

•第3回

日時: 8月30日(土)14:00~17:00 出席者: 9名

場所:九州大学経済学部 4 階408号室

テーマと講師:流通システムの理論と現実(I), (II) (立田浩之・久留米大商学部)

著書『流通システムのネットワーク分析』の中から流通システム,研究方法,概念と認識方法を解説し,新たな概念構成,経路システムの階層構成を試みた.

• 第 4 回

日時: 9月27日(土)14:00~17:00 出席者:12名

場所:九州大学経済学部 4 階408号室

テーマと講師:(1) 線形計画法に対する新解法につい

て(今井浩・九州大学工学部)

Khachian, Karmarker の新解法から乗数罰金法の 最近の拡張まで概観した. 乗数罰金法はLPを凸計画に 変換して Newton 法を適用するものだが、アルゴリズ としても双対理論としても単体法をしのぐものであると 予想された.

(2) 資源輸出国と工業国間の微分ゲームモデル (時政 勗・佐賀大学経済学部)

枯渇資源輸出国と技術工業国から成る世界経済モデル における動的ゲームに対する Nash 均衡解の必要条件と して Solow-Stiglitz の効率性条件を導いて、各種の位 相分析と安定分析を行なった。

## ●政策科学(顯西)●

• 第13回

日時: 9月13日(土)14:00~17:00 出席者: 29名

場所: 芦大クラブ

テーマと講師:

(1)「知識ベースの概念を取り入れた計画・意思決定支援システム―ACTIVE-DSS」

国領 茂 (㈱東洋情報システム応用技術システム営業部)

(2)「人工知能AIの最近の動向」

馬野 元秀 (大阪大学大型計算機センター)

概要 (1) ACTIVE-DSS は3つの機能, 1) 基本機能,ユーズウェア化機能, 3) 応用システムから構成されている. ACTIVE-DSS の適用例として,1) ある商社の年間売上高をマクロ経済データよりモデル化する非定型的な利用例と,ACTIVE-DSS のユーズウェア化機能により構築された,応用システムとして季節的変動のある商品の販売計画・予実管理システムの概要を述べる.

(2) 人工知能の応用分野には、1) 自然言語理解、2) エキスパート・システム、3) 画像理解があり、そのすべての基礎として、1) 知識表現、2) 問題解決、3) 知識獲得、4) プログラミング言語とツール、がある。人工知能の実用分解に対しては「知識工学」という言葉が使われ、その基礎的な研究分野は「認知科学」と呼ばれることがある。